

新人看護師メッセージ

婦人科病棟

Vol.01



入職してから自分の知識や技術に不安が多い中、先輩看護師の優しく丁寧なサポートの元、自分の看護の質を高めていくことができています。日々カンファレンスで先輩看護師と看護介入について話し合い、疾患や治療に対する理解を深めることができていますと感じています。

先輩との交流

私が病棟で働き始めた頃、治療のために再入院してきた患者さんが「ただいま、またお世話になるね。」とおっしゃっているのを聞いた時、「ただいま」と言えるような、あたたかい環境であり、先輩看護師一人ひとりが患者さんとの時間を作り信頼関係を築き、良い看護を提供されていると感じました。

看護実践の紹介

看護師は常に患者さんの命に向き合い、責任の重い職業で、時折自分の看護に不安を抱え、悩むこともあります。しかし、患者さんの治療に至るまでの葛藤を知ったうえで、退院後の生活を考えた看護を実践し、患者さんから日々「ありがとう。」と笑顔で言われる度にやりがいを感じることができます。今後も一人一人の患者さんとの時間を大切にし、より知識や技術を高め、個別性のある看護を実践していきたいです。

看護の楽しさ



独立行政法人国立病院機構

九州がんセンター

National Hospital Organization Kyushu Cancer Center

看護部